

ザ・チャレンジ

(大学受験編)

国公立大学の前期試験がほぼ終わり、大学入試も終盤に差し掛かりました。まだ入試が続く受験生も最後まで諦めず、自分自身の努力を信じて後期試験に臨んでください。

一方で高1生、高2生の皆さんは、これから本格的な受験期を迎えます。まずは今年のセンター試験の問題にチャレンジして、自分の今の実力をしっかり測りましょう。受験勉強は第1志望校に合格するために必要な科目・配点と目標点を理解して、今の実力とのギャップを把握することから始まります。そしてこれからの1年、2年をどう過ごすのか、入試までの学習計画を立てていきましょう。まずは基礎基本の徹底が不可欠です。

大学受験まであと1年を切っている高2生に対して、高1生は「受験までまだ時間がある」「入試が変わるのは一つ下の学年からなので、自分はまだ焦る必要がないの

では」と考えがちです。しかし今の高1生も、これから始まる大学入試改革による影響をすでに受けています。

2021年の大学入試からセンター試験が廃止となり、「大学入学共通テスト」が実施されます。4技能を図る英語の外部試験も必須となりますが、今の高1生、高2生の受験時にも多くの大学でこれらの外部試験を利用した入試が実施される予定で、英語4技能は今の大学入試にも必要な力となります。特に現中3生は、高3生の時に受験した結果しか「大学入学共通テスト」で利用できませんが、今の高1生、高2生は入試に利用するスコアの利用期間制限がない場合も多いです。高1生は今のうちから英語を固めて外部試験を受けておけば、受験の際に大きなメリットとなります。裏を返せば、今のうちに固めておかないと現高2生、高3生以上に他の受験生と差を付けられてしまうということです。

Q. 高校1、2年の受験対策は？

また私立大学の入学定員の厳格化が進み、例年以上に合格ラインが厳しくなっています。これまでの受験生以上の努力を高1生、高2生のうちから行っていないと、第1志望校に合格することは容易ではありません。つまり受験勉強は、現高1生からすでに始まっているのです。

そして現中3生の皆さんにとっては、これから始まる高校生活のスタートがそのまま大学受験のスタートになるといっても過言ではない学年になります。特に英語は高2生までに固め、新テストに向けて万全の準備を行ってください。

(CG高等館 東進衛星予備校)

※幼児教育から各段階の進学対応まで、多様な「学び」の情報を紹介。次回は小学校編。

A. 入試改革の対応はやはり必要



大学進学情報紙「TOSHIN TIMES」
CG高等館 東進衛星予備校各校舎で無料配布中